

表5-1 公共用水域(河川)水質・底質測定回数の平成25年度からの変更内容一覧

測定機関	測定地点		環境基準 指定	生物 類型	測定項目		測定回数 の変更		変更理由
	河川 (水域) 名	測定地点名			測定項目	測定回数 の変更			
近畿地整	淀川 下流 (1)	枚方大橋流心 枚方大橋左岸 枚方大橋右岸	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					要監視項目	トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、キシレン	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)
					要監視項目(生物)	モリブデン、アンチモン	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)
		鳥飼大橋流心	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目
		鳥飼大橋左岸	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	4 → 2	その他の変更(計画規定回数以下に変更(※))
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	その他の変更(新規項目として、計画規定回数以下でスタート(※))
					要監視項目	p-ジクロロベンゼン、キシレン	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)
		鳥飼大橋右岸	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	4 → 2	その他の変更(計画規定回数以下に変更(※))
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	その他の変更(新規項目として、計画規定回数以下でスタート(※))
	要監視項目(生物)				4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
	菅原城北大橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
				要監視項目	トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、キシレン	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)	
				要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
	淀川 下流 (2)	伝法大橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目
	芥川 (2)	鷺打橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加	2 → 4	その他の変更(H25は計画規定回数以下であったが、H26から計画規定回数通りとする。)
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目
	猪名川 上流	銀橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目
		軍行橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
	生活環境項目(生物)				ノニルフェノール	増加	2 → 4	その他の変更(H25は計画規定回数以下であったが、H26から計画規定回数通りとする。)	
	生活環境項目(生物)				LAS	増加	0 → 4	新規項目	
要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール				増加	0 → 1	新規項目		
猪名川 下流 (2)	利倉橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
				要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
石川	石川橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
				健康項目	トリクロロエチレン	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)	
				要監視項目	フェニトロチオン	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)	
				要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
大和川 中流	国豊橋	●	生物 B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	新規項目	
				健康項目	鉛	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)	
				健康項目	カドミウム、全シアン、六価クロム、総水銀	休止	② → -	過去の検出状況等に基づく効率化・上流側の環境基準点(奈良県域の藤井)との距離が短く、またその間に目立った流入がほとんどない。	
				健康項目	PCB	休止	① → -	過去10年間の全検体が報告下限値未満。ただし、PCB、チウラム、シマジン、チオベンカルブについては、国豊橋では10年間測定していないため、上流側の環境基準点(奈良県域の藤井)において過去10年間の全検体が報告下限値未満であることを確認した。	
				健康項目(農業)	チウラム、シマジン、チオベンカルブ	休止	1 → -		
特殊項目	全クロム	休止	① → -						

※丸囲み数字(①②)は数年一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」の内、○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

測定機関	測定地点		環境基準点	生物類型指定	測定項目	測定回数の変更		変更理由		
	河川(水域)名	測定地点名								
近畿地整(続き)	大和川中流	河内橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
					要監視項目	p-ジクロロベンゼン	減少	2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間の全検体が指針値未満)	
					要監視項目	モリブデン	増加	1 → 2	過去の検出状況等に基づく重点化(過去10年間に指針値の1/2以下の検出があるため)	
		浅香新取水口	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
					要監視項目	p-ジクロロベンゼン	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
	大和川下流	遠里小野橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
					健康項目	テトラクロロエチレン	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)	
					要監視項目	p-ジクロロベンゼン、キシレン	減少	2 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
					要監視項目	エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン	増加	- → 2	過去の検出状況等に基づく重点化(2008年度に休止したが、過去10年間に指針値の2分の1以下の検出があるため、測定再開)	
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
大阪市	神崎川	小松橋	●	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	新規項目	
					要監視項目	クロロホルム	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。2年もしくは3年ローリングとする。)	
		千船橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。2年もしくは3年ローリングとする。)	
	寝屋川水域	全7地点	-	-	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 1	新規項目	
					要監視項目	クロロホルム	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。2年もしくは3年ローリングとする。)	
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。2年もしくは3年ローリングとする。)	
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)	
	大坂水城内河	全12地点	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
					要監視項目	クロロホルム	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。2年もしくは3年ローリングとする。)	
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。2年もしくは3年ローリングとする。)	
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)	
堺市	西除川(2)	大和川合流直前	○	-	生活環境項目	全窒素、全りん	減少	6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、濃度推移に変化がないため)	
					生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	6 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更	
					健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン	ローリング	④ → ①		
					健康項目	PCB	ローリング	① → ①		
					健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、テオベンカルブ	ローリング	② → ①	ローリング調査による変更(2年ローリングを継続する。)	
					特殊項目	全クロム	ローリング	② → ①	※特殊項目の全クロムと要監視項目のEPNは3年ローリング。	
	狭間川	狭間橋	●	-	-	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン	ローリング	② → ①	
						健康項目	PCB	ローリング	① → ①	
						健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、テオベンカルブ	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)
						特殊項目	全クロム	ローリング	① → ①	
						要監視項目	トランス-1,2-ジクロロエチレン、EPN	ローリング	① → ①	
						要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)
内川放水路	古川橋	●	-	-	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素	ローリング	① → ②		
					健康項目	PCB	ローリング	① → ①		
					健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、テオベンカルブ	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)	
					特殊項目	全クロム	ローリング	① → ①		
					要監視項目	トランス-1,2-ジクロロエチレン、EPN	ローリング	① → ①		
内川	堅川橋	●	-	-	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素	ローリング	② → ①		
					健康項目	PCB	ローリング	① → ①		
					健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、テオベンカルブ	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)	
					特殊項目	全クロム	ローリング	① → ①		
					要監視項目	トランス-1,2-ジクロロエチレン、EPN	ローリング	① → ①		

※丸囲み数字(①②)は数年一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」の内、○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

測定機関	測定地点		環境基準点	生物類型指定	測定項目	測定回数の変更		変更理由		
	河川(水域)名	測定地点名								
堺市(続き)	石津川	新川橋	●	-	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン	ローリング	② → ②	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)	
					健康項目	PCB	ローリング	① → ①		
					健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、チオベンカルブ	ローリング	① → ①		
					特殊項目	全クロム	ローリング	① → ①		
					要監視項目	トランス-1,2-ジクロロエチレン、EPN	ローリング	① → ①		
		石津川橋	○	-	生活環境項目	全窒素、全りん	減少	6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、濃度推移に変化がないため)	
					生活環境項目(生物)	全亜鉛	減少	6 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更	
					健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン	ローリング	④ → ④	ローリング調査による変更(2年ローリングを継続する。) ※特殊項目の全クロムと要監視項目のEPNは3年ローリング。	
					健康項目	PCB	ローリング	① → ①		
					健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、チオベンカルブ	ローリング	② → ②		
	特殊項目	全クロム	ローリング	② → ②						
	要監視項目	EPN	ローリング	① → ①						
	毛穴大橋	●	-	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン	ローリング	② → ②	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)		
				健康項目	PCB	ローリング	① → ①			
				健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、チオベンカルブ	ローリング	① → ①			
				特殊項目	全クロム	ローリング	① → ①			
				要監視項目	トランス-1,2-ジクロロエチレン、EPN	ローリング	① → ①			
	百舌鳥川	●	-	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン	ローリング	② → ②	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)		
				健康項目	PCB	ローリング	① → ①			
				健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、チオベンカルブ	ローリング	① → ①			
特殊項目				全クロム	ローリング	① → ①				
要監視項目				トランス-1,2-ジクロロエチレン、EPN	ローリング	① → ①				
和田川	小野々井橋	○	生物B	生活環境項目	全窒素、全りん	減少	6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、濃度推移に変化がないため)		
				生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更		
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目		
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ベンゼン、セレン	ローリング	④ → ④	ローリング調査による変更(2年ローリングを継続する。) ※特殊項目の全クロムと要監視項目のEPNは3年ローリングであり、H26→H27で変更なし。		
				健康項目	PCB	ローリング	② → ②			
				健康項目(農業)	1,3-ジクロロプロペン、テウラム、シマジン、チオベンカルブ	ローリング	② → ②			
				要監視項目	イソキサチオン、ダイアジン、フェニトロチオン、イソプロチオラン、オキシ銅、クロロタロニル、プロピザミド、ジクロロポス、フェノカルブ、イプロベンホス、クロルニトロフェン	ローリング	① → ①			
				要監視項目(生物)	4-t-オクテルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → ①		新規項目(2年ローリングとする。)	
岸和田市	牛滝川	高橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加		0 → 12	新規項目
					要監視項目(生物)	4-t-オクテルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加		0 → 1	新規項目
	春木川	春木橋	○	-	生活環境項目(生物)	LAS	増加		0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	4-t-オクテルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
豊中市	川天竺	神崎川合流直前	●	-	要監視項目	EPN	休止	1 → -	過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間の全検体が報告下限値未満のため。)	
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更	
	千里川	猪名川合流直前	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
					要監視項目	EPN	休止	1 → -	過去の検出状況等に基づく効率化(過去10年間の全検体が報告下限値未満のため。)	
		落合橋	●	生物B	要監視項目(生物)	4-t-オクテルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)	
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	4 → 2	計画規定回数に見直しに基づく変更	
吹田市	正雀川	安威川合流直前	●	-	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加	0 → 2	その他の変更(未測定項目の追加)	
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	新規項目	
					要監視項目	オキシ銅、フタル酸ジエチルヘキシル、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エビクロヒドリン、全マンガ、ウラン	増加	0 → 1	その他の変更(未測定項目の追加)	
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	増加	0 → 1	その他の変更(未測定項目の追加)	
					要監視項目(生物)	4-t-オクテルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目	
					高槻市	檜尾川	磐手社神社	○	生物B	生活環境項目(生物)
生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目						
要監視項目(生物)	4-t-オクテルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目						

※丸囲み数字(①②)は数年一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」の内、○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

測定機関	測定地点		環境基準点	生物類型指定	測定項目	測定回数の変更		変更理由		
	河川(水域)名	測定地点名								
高槻市(続き)	(1) 芥川	塚脇橋	○	生物 A	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目	
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		
	女瀬川	天堂橋	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	休止	1 → -	その他の変更(水生生物類型指定されていないため。また、過去5検体以上、検出されていないため。)	
	枚方市	船橋川	新登橋上流	○	生物 B	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目
						生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	
						要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	
		穂谷川	淀川合流直前	○	-	要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目
		天野川	淀川合流直前	○	-	要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目
藤本川	淀川合流直前	○	-	要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目		
黒田川	西ノ口樋門	○	-	要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目		
安居川	淀川合流直前	○	-	要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目		
淀川水路第一	市境	○	-	要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1	新規項目		
茨木市	安威川上流	桑ノ原橋	○	生物 A	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下) 計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目 計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。) 新規項目(2年ローリングとする。)	
					生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		
					要監視項目	クロロホルム	減少	1 → ①		
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		
	安威川下流(1)	千歳橋	○	生物 B	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下) 計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目 計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目 新規項目(2年ローリングとする。)	
					生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → 1		
					要監視項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		
	安威川下流(2)	宮鳥橋	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目 ローリング ② → ① ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。) 過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。) ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。) 計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。) 新規項目(2年ローリングとする。)	
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		
					健康項目	カドミウム、全シアン、総水銀、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン	ローリング	② → ①		
					健康項目	鉛、六価クロム、砒素、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、セレン	減少	2 → ①		
					特殊項目	ノルマルヘキサン抽出物質、全クロム	減少	1 → ①		
					健康項目、特殊項目	PCB、フェノール類	ローリング	① → ①		
要監視項目					クロロホルム	減少	1 → ①			
要監視項目(生物)					フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①			
要監視項目(生物)					4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → ①			
要監視項目(生物)					LAS	増加	0 → 4			
佐保川及び茨木川	安威川合流直前	○	生物 B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目 ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。) 過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。) 計画規定回数に見直しに基づく変更 新規項目(2年ローリングとする。)		
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4			
				健康項目	カドミウム、全シアン、総水銀、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン	増加	① → ②			
				健康項目、特殊項目	PCB、フェノール類	増加	① → ①			
				健康項目	鉛、六価クロム、砒素、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン	減少	2 → ②			
				特殊項目	ノルマルヘキサン抽出物質、全クロム	減少	1 → ①			
				要監視項目	クロロホルム	減少	1 → ①			
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①			
				要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加	0 → ①			
				要監視項目(生物)	LAS	増加	0 → 4			

※丸囲み数字(①②)は数年に一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」の内、○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

測定機関	測定地点		環境基準点	生物類型指定	測定項目	測定回数の変更	変更理由							
	河川(水域)名	測定地点名												
茨木市(続き)	勝尾寺川	中河原橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更						
					生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目						
					健康項目	鉛、六価クロム、砒素、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエタン	減少 2 → ①	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)						
					特殊項目	ノルマルヘキサン抽出物質、全クロム	減少 1 → ①							
					要監視項目	クロロホルム	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)						
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①							
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加 0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)						
寝屋川市	寝屋川	清水橋	●	生物B	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	減少 4 → 2	計画規定回数の見直しに基づく変更						
					生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 2	新規項目						
					健康項目(農業)	1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ	減少 2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)						
					要監視項目	クロロホルム	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)						
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①							
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加 0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)						
	寝屋川	萱島橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更						
					生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目						
					健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素	減少 4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下。全シアンと総水銀については報告下限値未達。)						
					健康項目(農業)	1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ	減少 4 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)						
					要監視項目	要監視項目(水生生物保全項目を除く)	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)						
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①							
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加 0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)						
					要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加 0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)						
大阪府	全57地点のうち	19地点		要監視項目	要監視項目(水生生物保全項目を除く)	ローリング ① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)							
		19地点		要監視項目	要監視項目(水生生物保全項目を除く)	ローリング ① → ①	ローリング調査による変更(3年ローリングを継続する。)							
		生物類型指定がなされている35地点のうち	18地点		要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加 0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)						
			17地点		要監視項目(生物)	4-t-オクチルフェノール、アニリン、2,4-ジクロロフェノール	増加 0 → ①	新規項目(2年ローリングとする。)						
	水無瀬川	名神高速道路高架橋下	○	生物A	生活環境項目	pH	減少 48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下)						
					生活環境項目	DO、COD、SS、大腸菌群数	減少 12 → 4							
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更						
					生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目						
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)						
					底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)						
					新三国橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更			
								生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目			
								要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)			
								底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)			
								神崎橋	●	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 4 → 2	計画規定回数見直しに基づく変更
											生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 2	新規項目
	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)										
	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数見直しに基づく変更										
	辰巳橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目							
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)							
底質				総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)								
安威川下流(3)				新京阪橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数見直しに基づく変更				
	生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4				新規項目							
	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①				計画規定回数見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)							
	健康項目、特殊項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素	減少 6 → 4				過去の検出状況等に基づく効率化(硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が過去5年間、環境基準の2分の1以下)							
	底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①				計画規定回数見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)							

※丸囲み数字(①②)は数年に一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」の内、○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

測定機関	測定地点		環境基準点	生物類型指定	測定項目	測定回数の変更		変更理由	
	河川(水域)名	測定地点名							
大阪府(続き1)	大正川	安威川合流直前	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	山田川	安威川合流直前	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	箕面川(1)	箕面市取水口	○	生物A	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下)
					生活環境項目	DO、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4	
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					健康項目	砒素	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					健康項目	ふっ素	減少	6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	(箕面川)	府県境	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
	余野川	猪名川合流直前	○	生物A	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下)
					生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4	
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					健康項目	砒素	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					健康項目	ほう素	減少	6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	田尻川	兵庫県界	○	生物A	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下)
					生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4	
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
					健康項目	砒素	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
底質					総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
一庫・大路次川	兵庫県界	○	生物A	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下)	
				生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4		
				生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
山辺川	一庫・大路次川合流直前	○	生物A	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体がBODの環境基準以下)	
				生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4		
				生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
寝屋川	住道大橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
恩智川	住道新橋	○	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
石川	高橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数に見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数に見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	

※丸囲み数字(①②)は数年に一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」内の○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

測定機関	測定地点		環境基準点	生物類型指定	測定項目		測定回数の変更		変更理由	
	河川(水域)名	測定地点名								
大阪府(続き2)	千早川	石川合流直前	○	生物B	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体が「BODの環境基準以下」)	
					生活環境項目	DO、BOD、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	天見川	新喜多橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	石見川	新高野橋	○	生物A	生活環境項目	pH	減少	48 → 16	過去の検出状況等に基づく効率化(A類型の地点であって、過去5年間の全検体が「BODの環境基準以下」)	
					生活環境項目	DO、COD、SS、大腸菌群数	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4		
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	川鳥飛	円明橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
	川梅	石川合流直前			生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目
	川備佐	大伴橋			要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	川除東	明治小橋			底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	川堀落	東除川合流直前	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
	川井	大和川合流直前	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
	西除川	狭山池合流直前	●	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	4 → 2	計画規定回数の見直しに基づく変更	
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2		新規項目
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
		狭山池流出端	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
					生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目
					特定項目	トリハロメタン生成能	休止	1 → -		その他の変更(上水道水源地域の見直しに基づく変更※)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	王子川	新王子橋	●	-	健康項目	砒素	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)		
川新	河口水門	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)		
大津川	高津取水口	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更		
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
	大津川橋	○	-	健康項目	ふっ素	減少	4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)		
要監視項目(生物)				フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)			
底質				総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)			
川松尾	新緑田橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更		
川尾橋	繁和橋			生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目	
川父鬼	神田橋			要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①		計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
東横尾川	東条橋	●	-	要監視項目	ウラン	増加	① → 1	過去の検出状況等に基づく重点化(平成25年度に指針値を超過した検体があったため)		
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)		
津田川	昭代橋	○	-	特殊項目	溶解性鉄	減少	2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、排水基準の20分の1以下)		
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)		
				底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)		
近木川	厄除橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少	12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更		
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4		新規項目	
		近木川橋	○	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
	健康項目				ふっ素	減少	6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)		
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)		
				底質	総水銀、PCB	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)		

※丸囲み数字(①②)は数年に一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」の内、○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

測定機関	測定地点		環境基準点	生物類型指定	測定項目		測定回数の変更	変更理由
	河川(水域)名	測定地点名						
大阪府(続き3)	川谷稻	通天橋	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	見出川	見出橋	○	-	健康項目	鉛	減少 4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					健康項目	ふっ素	減少 6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	佐野川	昭平橋	○	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	川山雨	佐野川合流直前	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	川吉住	向田橋	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	田尻川	府道塚阪南線陸橋	●	-	健康項目	ふっ素	減少 4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	櫻井川	兎田橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	櫻井川	櫻井川橋	○	-	健康項目	トリクロロエチレン	減少 4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					特殊項目	溶解性鉄	減少 2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、排水基準の20分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
					底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	新家川	明治小橋	●	-	健康項目、特殊項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素、りん酸性りん	減少 4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	大里川	河口水門	●	-	特殊項目	溶解性鉄、溶解性マンガン	減少 2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、排水基準の20分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	男里川	男里川橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目
					健康項目	ふっ素	減少 6 → 4	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間、環境基準の2分の1以下)
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	釜熊寺川	男里橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
					生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目
					要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)
	菟砥川	西打合橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更
東打合橋		生活環境項目(生物)			LAS	増加 0 → 4	新規項目	
川屋茶	新茶屋川橋	●	-	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目	
番川	田身輪橋	○	生物B	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目	
大川	昭南橋	○	生物B	要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
				生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
東川	一軒屋橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目	
				健康項目、特殊項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素、りん酸性りん	減少 4 → 2	過去の検出状況等に基づく効率化(硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が過去5年間、環境基準の2分の1以下)	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
西川	こうや橋	○	生物B	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ノニルフェノール	減少 12 → 4	計画規定回数の見直しに基づく変更	
				生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目	
				要監視項目(生物)	フェノール、ホルムアルデヒド	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)	
					底質	総水銀、PCB	減少 1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリング。)

※丸囲み数字(①②)は数年に一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。
 ※「環境基準点」の内、○印は環境基準点、●印は準基準点を示す。
 ※クロロホルムは水生生物の保全に関する項目にも該当する。

表5-2 公共用水域(海域)水質・底質測定回数の平成25年度からの変更内容一覧

測定機関	測定地点		環境基準点	測定項目	測定回数の変更		変更理由	
	水域名	測定地点名						
大阪市	大阪湾(1)	O-1 (No.5パイ跡) ・ O-2 (南港) ・ O-3 (大阪港関門外) ・ O-4 (神崎川河口中央) ・ O-5 (淀川河口中央) ・ O-6 (木津川河口中央)	●	生活環境項目(生物)	全亜鉛、ニルフェノール	増加	1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	新規項目
堺市	大阪湾(1)	S-1 (堺7-3区沖)	●	生活環境項目(生物)	ニルフェノール	増加	1 → 2	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	新規項目
				健康項目	PCB	ローリング	① → ①	ローリング調査による変更(2年ローリングを継続する。)
				特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、溶解鉛マンガン、全クロム	ローリング	② → ②	ローリング調査による変更(2年ローリングを継続する。)
大阪府	大阪湾(1)	C-3 (南港西)	◎	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	2 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	ニルフェノール	増加	1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少	2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
		健康項目	PCB	減少	1 → ①			
		特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少	2 → ②			
		C-4 (堺泉北港西) ・ C-5 (阪南港西)	◎	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	2 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	ニルフェノール	増加	1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
	生活環境項目(生物)			LAS	増加	0 → 4	新規項目	
	健康項目			カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少	2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)	
	健康項目	PCB	減少	1 → ①				
	特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少	2 → ②				
	大阪湾(2)	B-3 (築港沖) ・ B-5 (二色沖)	◎	生活環境項目(生物)	ニルフェノール	増加	1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少	2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
				健康項目	PCB	減少	1 → ①	
特殊項目		フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少	2 → ②				
B-4 (泉大津沖)		◎	生活環境項目(生物)	ニルフェノール	増加	1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。	
			生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 4	新規項目	
			健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少	2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)	
	健康項目		PCB	減少	1 → ①			
特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少	2 → ②					

※「環境基準点」内の、◎印は環境基準点を、○印は環境基準点(全窒素、全りん及び水生生物保全項目を除く)を、●印は準基準点を示す。
 ※丸囲み数字(①②)は数年一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。

測定機関	測定地点		環境基準点	測定項目	測定回数 の変更	変更理由	
	水域名	測定地点名					
大阪府(続き1)	大阪湾(3)	A-2 (忠岡港沖)	◎	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加 1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン	減少 2 → ⊖	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
				健康項目	PCB	減少 1 → ⊖	
				特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少 2 → ⊖	
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少 2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
	大阪湾(4)	A-6 (関空北) ・ A-7 (尾崎沖)	◎	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加 1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少 2 → ⊖	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
				健康項目	PCB	減少 1 → ⊖	
				特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少 2 → ⊖	
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少 2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
大阪湾(5)	A-10 (関空西)	◎	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加 1 → 4	大阪湾が生物類型指定されたため。	
			生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 4	新規項目	
			健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少 2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)	
			健康項目	PCB	減少 1 → ①		
			特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少 2 → ②		
			健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少 2 → ⊖	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)	
尾崎港	C-7 (尾崎港内)	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加 1 → 2	大阪湾が生物類型指定されたため。	
			生活環境項目(生物)	LAS	増加 0 → 2	新規項目	
			健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少 2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)	
			健康項目	PCB	減少 1 → ①		
			特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少 2 → ②		
			健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少 2 → ②	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)	

※「環境基準点」内の、◎印は環境基準点を、○印は環境基準点(全窒素、全りん及び水生生物保全項目を除く)を、●印は準基準点を示す。
 ※丸囲み数字(①②)は数年一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。

測定機関	測定地点		環境基準点	測定項目	測定回数の変更		変更理由	
	水域名	測定地点名						
大阪府(続き2)	淡輪港	C-8 (淡輪港内)	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加	1 → 2	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	新規項目
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少	2 → ⊖	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
				健康項目	PCB	減少	1 → ⊖	
				特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少	2 → ⊖	
				健康項目	PCB	減少	1 → ⊖	
	深日港	C-9 (深日港内)	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	増加	1 → 2	大阪湾が生物類型指定されたため。
				生活環境項目(生物)	LAS	増加	0 → 2	新規項目
				健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン	減少	2 → ⊖	過去の検出状況等に基づく効率化(事務処理基準等に基づき、検出状況、利水状況、発生源の状況から総合的に判断して特に支障ないため、3年ローリングに移行する。)
				健康項目	PCB	減少	1 → ⊖	
				特殊項目	フェノール類、溶解性鉄、全クロム	減少	2 → ⊖	
				健康項目	PCB	減少	1 → ⊖	
	5地点			底質	底質(カドミウム、全シアン、鉛、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ノルマルヘキサ抽出物質)	減少	1 → ①	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)
				底質	底質(pH、COD、含水率、硫化物、酸化還元電位、強熱減量、総クロム)	減少	2 → ②	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)
10地点				底質	底質(カドミウム、全シアン、鉛、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ノルマルヘキサ抽出物質)	減少	1 → ⊖	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)
				底質	底質(pH、COD、含水率、硫化物、酸化還元電位、強熱減量、総クロム)	減少	2 → ⊖	計画規定回数の見直しに基づく変更(ローリング調査に移行。3年ローリングとする。)

※「環境基準点」の内、◎印は環境基準点を、○印は環境基準点(全窒素、全りん及び水生生物保全項目を除く)を、●印は準基準点を示す。
 ※丸囲み数字(①②)は数年一度調査を実施するローリング調査導入地点を示す。円内の数字は測定回数を示し、-は測定をしないことを示す。